

雨竜町CS（コミュニティ・スクール）だより

故郷（ふるさと）

発行 雨竜町立学校 学校運営協議会

令和5年（2023年）9月30日発行 令和5年度NO.3



「地域とともにある学校」づくりをめざし、特色ある教育活動について紹介します。

田んぼ de アート（小学校6年生） 稲刈り（小学校4・5年生）

J Aきたそらち青年部雨竜支部と小学校6年生がコラボした田んぼ de アート。今年は、コンサドーレ札幌のマスコットキャラクター

のドーレ君がデザインされ、期間中たくさんの来町者の目を楽しませてくれました。稲刈りが9月13日に行われ、青年部の皆さんのご指導を受け、文字の部分（色の違う稲）を一緒に刈り取りました。関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



1日防災教室（小・中学校）

9月25日（月）に、小・中合同の避難訓練に合わせ、小学校では1日防災教室を実施しました。滝川消防署江竜支署の協力を受け、低学年は消防車の見学を、中・高学年は火災に見立てた煙体験をそれぞれ行いました。煙体験では理科室を無害の煙で充満させ、視界が遮られた中、避難行動をとりました。マスクやハンカチで鼻や口を押え、身の安全に気を配りながら理科室から退避する姿は真剣そのものでした。

なお、中学校では別日にネパール深川で1年生が防災プログラムを体験してきました。日本は災害の多い国なので、雨竜町立学校では、今後も防災の意識を高める教育活動を展開していきます。



雨竜高等養護学校との交流（中学校3年生）

9月28日（木）に中学校3年生が雨竜高等養護学校の1年生を中学校に招いて、交流活動を行いました。スポーツ・調理・レクリエーションの3つのグループに分かれ、お互い協力しながら、活動を楽しんでいました。6月には中学生が雨竜高等養護学校を訪問し、木工・皮革・窯業などを教えてもらいました。この交流活動は雨竜高等養護学校が開校して以来、40年間続いています。長い年月をかけて築いてきた交流の絆をこれからも大切にしていきます。

